

コロナの時代

世界中で2,890万人が感染し、92万人が死亡している新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、1918年に始まったスペイン風邪以来100年ぶりのパンデミック（世界的な大流行）です。スペイン風邪はインフルエンザウイルスによるものであり、日本においても2,300万人が罹患し、38万人が死亡した（致死率は約1.7%）と推計されています。今回は、SARS-CoV-2という新型コロナウイルスが原因であり、日本でも7万5,000人が感染し、1,400人を超える方々が亡くなっています（致死率は約2%）。医療や社会インフラの進歩を加味すれば、いかに未曾有の事態か分かるでしょう。



このウイルスの厄介な点は、約80%の人は感染しても無症状ないし軽症で感染が分かりにくいことに加え、無症状の人も他人に感染させ得ることにあります。感染拡大防止のためには、三密を避け、手洗い、消毒、咳エチケットの励行など基本的なことを守り、できるだけ早く感染者を発見し、隔離するし

かありません。ワクチンはまだなく、治療薬も国の承認薬は非常に少ないのが実情です。

また、感染拡大防止と経済活動のバランスという困難な問題にどう対応するかも、世界中で大きな問題となっています。感染拡大防止のために社会を閉鎖すれば経済活動が停止し、経済活動を優先すれば感染が拡大します。我々は社会の在り方を見直す分岐点に差し掛かっているといえるでしょう。このような時、人の行動は多様です。じっと家に閉じこもってしまう人、夜の街に繰り出し感染を広げるリスクを気に掛けない人、医療従事者を差別する人、困窮する医療現場や学生を支援しようとする人など。

皆さんはどう考えて、withコロナの時代を生きていきますか。どのような苦難の時代にも、前向きで、物事を冷静に判断し、他人を思いやり、自分を大切にする生き方を選択してほしいと強く願っています。

※新型コロナウイルス感染症の感染者数、死亡者数：9/14付

河野 茂

CONTENTS

長崎大学広報誌
[チョーホー]
Choho Vol.73

本誌記事を長崎大学関係者が転載する場合は、「長崎大学広報誌 Choho vol.〇から」と明記してください。学外の方は、事前に広報戦略本部までご連絡願います。なお、「研究最前線」「グラバー図譜」コーナーについては一切の引用および転載を禁止しております。

学長室だより コロナの時代

1

表紙のはなし

特集 地域で活かされる長崎大学の「知」

2

Topics 先輩から後輩へSNSを活用した支援の輪

13

サークルの星! 全学ダンス部/長崎大学全学テコンドー部/
探検部/クラシックギター部

15

研究最前線 新たな病気治療や予防法の確立を目指す遺伝子データ解析
植木優夫

17

グラバー図譜 ニタリ/山口敦子

19

Information 2020年度 長崎大学公開講座 10月~12月(予定)
クイズ&編集後記

21

躍動感あふれる動きを披露しているのは全学ダンス部の皆さん。イベントに参加するなど、創作ダンスを通じて地域にも貢献しているグループです。普段の練習は体育館の中で行われていますが、この日は特別に青空の下を舞台に美しいポーズをつくってくれました。ダンス部の詳しい活動内容は、今号の「サークルの星」をご覧ください。